

2021年12月1日配布

数学演習 IIA-8 回目：表現行列、固有値

- 1 [表現行列と基底変換] 定数 $h > 0$ を固定する。 V を3次以下の多項式のなす線形空間、 V' を2次以下の多項式のなす線型空間とする。線型写像 $T: V \rightarrow V'$ を

$$(Tf)(x) = \frac{f(x+h) - f(x)}{h}$$

と定義する。

- (1) $\{\mathbf{u}_1, \mathbf{u}_2, \mathbf{u}_3, \mathbf{u}_4\} = \{1, x, x^2, x^3\}$ を V の基底、 $\{\mathbf{u}'_1, \mathbf{u}'_2, \mathbf{u}'_3\} = \{1, x, x^2\}$ を V' の基底とする。基底 $\{\mathbf{u}_j\}$ と基底 $\{\mathbf{u}'_i\}$ に関する T の表現行列 A を求めよ。
- (2) 基底 $\{\mathbf{u}'_1, \mathbf{u}'_2, \mathbf{u}'_3\}$ から基底 $\{\mathbf{v}'_1, \mathbf{v}'_2, \mathbf{v}'_3\} = \{1, x, (x-h)x\}$ を作る変換行列 Q を求めよ。
- (3) 基底 $\{\mathbf{u}_1, \mathbf{u}_2, \mathbf{u}_3, \mathbf{u}_4\}$ から基底 $\{\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2, \mathbf{v}_3, \mathbf{v}_4\} = \{1, x, (x-h)x, (x-2h)(x-h)x\}$ を作る変換行列 P を求めよ。
- (4) 基底 $\{\mathbf{v}_j\}$ と基底 $\{\mathbf{v}'_i\}$ に関する T の表現行列 B を求めよ。

- 2 [固有値と固有空間の計算] 次の行列の固有値と対応する固有空間を求めよ。

$$(1) A = \begin{pmatrix} 2 & 4 \\ 1 & -1 \end{pmatrix}, \quad B = \begin{pmatrix} 2 & 0 & 0 \\ k-1 & k & k-1 \\ k-1 & k & k+1 \end{pmatrix}$$

- 3 [階数の性質] 次を示せ。

- (1) 線型写像 $f: V \rightarrow V', g: V' \rightarrow V''$ に対して $\text{rank}(g \circ f) \leq \text{rank}(g)$ を示せ。
- (2) 線型写像 $h: W \rightarrow W'$ に対して、 $\dim \text{Im} h \leq \dim W$ を示せ。
- (3) 線型写像 $f: V \rightarrow V', g: V' \rightarrow V''$ に対して $\text{rank}(g \circ f) \leq \text{rank}(f)$ を示せ。

● ヒント

- 1 (1)p188 練習問題 6.13, p181 例 6.16 の類題。(4) p184, 定理 6.8 の具体計算。
- 2 §6.4 の計算問題。練習問題 6.18, 6.20 の類題。
- 3 p189 練習問題 6.17。p185 定理 6.9 などの応用。(1)(3) では $\text{rank}(f) = \dim \text{Im} f$ を用いて良い。(2) では p169 系 6.2 の次元定理を用いて良い。

1 (1) 例えば

$$Tx^3 = \frac{(x+h)^3 - x^3}{h} = \frac{3hx^2 + 3h^2x + h^3}{h} = 3x^2 + 3hx + h^2$$

のような計算をする。他も $T(1) = 0, T(x) = 1, T(x^2) = 2x + h$ となるので、

$$(T(1) \ T(x) \ T(x^2) \ T(x^3)) = (1 \ x \ x^2) \begin{pmatrix} 0 & 1 & h & h^2 \\ 0 & 0 & 2 & 3h \\ 0 & 0 & 0 & 3 \end{pmatrix}.$$

この最後の行列が A である。

$$(2) \ (1 \ x \ (x-h)x) = (1 \ x \ x^2) \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & -h \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}. \text{ここに現れた行列が } Q \text{ である。}$$

$$(3) \ (1 \ x \ (x-h)x \ (x-2h)(x-h)x) = (1 \ x \ x^2 \ x^3) \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & -h & 2h^2 \\ 0 & 0 & 1 & -3h \\ 0 & 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}.$$

ここに現れた行列が P である。

$$(4) \ B = Q^{-1}AP = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & h \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 0 & 1 & h & h^2 \\ 0 & 0 & 2 & 3h \\ 0 & 0 & 0 & 3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & -h & 2h^2 \\ 0 & 0 & 1 & -3h \\ 0 & 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 2 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 3 \end{pmatrix}.$$

$$2 (1) \ W(3) = \mathbb{C} \begin{pmatrix} 4 \\ 1 \end{pmatrix}, \ W(-2) = \mathbb{C} \begin{pmatrix} -1 \\ 1 \end{pmatrix}.$$

$$(2) \ W(2) = \mathbb{C} \begin{pmatrix} -1 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}, \ W(1) = \mathbb{C} \begin{pmatrix} 0 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix}, \ W(2k) = \mathbb{C} \begin{pmatrix} 0 \\ k-1 \\ k \end{pmatrix}.$$

補足：なお、 $k = \frac{1}{2}$ の場合は、行列 B は対角化可能ではない。従って、 $\dim W(2) + \dim W(1) = 1 + 1 < 3$ となっている。

$$3 (1) \ \text{rank}(g \circ f) = \dim \text{Im}(g \circ f) = \dim g(f(V)) \leq \dim g(V') = \dim \text{Im}(g) = \text{rank}(g).$$

(2) 次元定理を用いると $\dim W = \dim \text{Ker}h + \dim \text{Im}h \geq \dim \text{Im}h = \dim h(W)$ となる。

(3) $\text{rank}(g \circ f) = \dim \text{Im}(g \circ f) = \dim g(f(V)) \leq \dim f(V) = \dim \text{Im}(f) = \text{rank}(f)$. ただし、途中の不等式は、(2) を $g: f(V) \rightarrow V''$ に適用している。